第 31 回操会東京支部同窓会を開催しました！
世代を超えてつなぐ～しなやかに生きる力～

（同窓会幹事：坂本、繁益、瀧、富川）

母校、宇都宮女子高等学校が創立 150 周年を迎える記念すべき年、令和 7 年 6 月 8 日（日）に、明治記念館「富士の間」におきまして、第 31 回操会東京支部同窓会を盛大に開催いたしました。

当日は、藤田弘光校長先生、宇梶宏美操会会長（昭和 53 年卒）をはじめとするご来賓、恩師の先生方、そして昭和 29 年卒の大先輩から平成 12 年卒の若手まで、世代を超えた多くの同窓生にご出席賜り、総勢 185 名が一堂に会する華やかな会となりました。

今回の同窓会は、幹事学年である昭和 58 年卒、59 年卒が中心となり、企画・運営を行いました。社会学者として世界的にご活躍されている細田満和子様（昭和 63 年卒）による特別講演会を始め、世代間の交流を深める企画を実施し、終始和やかな雰囲気の中、盛会のうちに幕を閉じることができました。

＊令和 7 年 6 月 8 日（日）11:30～14:30　明治記念館富士の間にて開催
＊主な次第
①ご挨拶　②乾杯　③特別企画　講演会　④恩師挨拶　⑤欠席された恩師からのメッセージ
⑥記念品贈呈　⑦校歌斉唱　⑧幹事学年紹介

〈当日の様子〉

定刻の 11 時 30 分、坂本友理幹事長の開会の言葉で華やかに幕を開けました。千代崎紀子支部長（昭和 51 年卒）の挨拶に続き、藤田校長先生からは母校の近況について、宇梶会長、花田前会長からは同窓会への温かいお祝いのお言葉を頂戴しました。

国語科の恩師、桑野正光先生のご発声で乾杯が行われると、会場は一気に和やかな雰囲気に包まれ、各テーブルでは思い出話に花が咲きました。

操会東京支部長挨拶

宇都宮女子高等学校長挨拶

操会会長挨拶

前操会会長挨拶

第 31 回幹事長開会の挨拶

歓談の様子

乾杯　恩師：桑野先生

(1) 特別企画：卒業生による講演会

本会の中心企画として、世界を舞台に活躍されている社会学者の細田満和子様（S63 卒）をお招きし、**「しなやかに生きる力：多様性を受け容れる共生社会」**と題してご講演いただきました。ご自身の経験を交えながら、変化の激しい現代社会を生き抜くためのしなやかな思考と、多様性を受け入れることの重要性について、力強く、かつ心に響くメッセージをお話しいただきました。参加者からは「明日への活力を得た」「宇女高卒業生であることを改めて誇りに思った」との声が多数寄せられ、大きな感動と勇気を与えていただきました。

卒業生による講演会：社会学者の細田満和子様

(2) 恩師の先生方との交流

ご出席いただいた伊澤正男先生、則包茂雄先生、竹内美穂子先生、隅内悦男先生からは、懐かしい思い出や心温まる激励のお言葉を賜りました。また、残念ながらご欠席となった先生方からも心のこもったメッセージが寄せられ、司会より代読されました。恩師の名前が紹介されると、会場のあちらこちらで歓声があがり、宇女高で過ごした日々を懐かしんでいました。

恩師挨拶：伊澤先生

則包先生

竹内先生

隅内先生

(3)世代を超えた交流

今回の参加者で最も大先輩である昭和 29 年卒の横山節子様と、多年にわたり操会を支えてこられた花田元操会会長（昭和 31 年卒）に敬意を表し、今回参加者の中で最も若手の平成 12 年卒、11 年卒の参加者より記念品を贈呈いたしました。

横山様からは後輩たちへの温かな励ましのお言葉を頂戴し、大きな拍手が送られました。

大先輩に敬意を込めて

(4)アーデル基金への寄付

現役生徒の活動を支援する「アーデル基金」への募金が千代崎支部長から藤田校長先生へ手渡され、母校への変わらぬ愛情が示されました。

(5)思い出の品

役員企画として、皆様から母校にまつわる貴重な思い出の品々

役員企画：想い出のお品

をお持ち寄りいただきました。校章やお母様時代の副章、卒業時に受け取った風呂敷、生徒会誌、さらには校歌に合わせた宇女高体操のプリントなど、数々の品が集まり、それぞれに懐かしい記憶が詰まっています。これらを手に取ることで、在学時の思い出が鮮やかによみがえり、世代を超えた絆を再確認する機会となりました。多くの方のご協力により、この温かなひとときを共有できました。

(6)校歌斉唱

宴もたけなわとなった頃、参加者全員の母校への思いを一つにする校歌斉唱が行われました。千代崎支部長の指揮のもと、世代を超えて受け継がれる宇女高の魂が明治記念館に響き渡りました。今回、宇女高合唱部 OG 有志が登壇し歌のリードを務め、会場全体が一体となり、感動的な時間となりました。参加者は懐かしさを感じながら、母校への思いを新たにしました。

校歌斉唱:恵みの波をたたえたる・・・

(7) 幹事学年紹介

今回幹事を務めた昭和58年・59年卒から、2年後の第32回同窓会を担当する昭和60年・61年卒の皆様へ、バトンが引き継がれました。

〈結びに〉

最後に、坂本幹事長より閉会の挨拶があり、参加者全員での記念撮影をもって、3時間にわたる祝宴は盛会のうちに幕を閉じました。

今回の同窓会は、母校創立150周年という節目に、同窓生の絆を再確認し、未来への活力を得る大変有意義な会となりました。ご協力いただきました皆様、ご出席いただいたすべての皆様に、幹事一同、心より御礼申し上げます。

集合写真：大先輩方を中心に

集合写真：若手を中心に

案内状発送 1,737 通（一斉発送 1,718 通　個別発送(含:メール送付)19 通)、返信｛はがき 460 通、Forms167 通｝

運営費振込者　185 名、アーデル基金寄付（当日）171,500 円

＊**住所変更**は操会事務局（宇女高内）ハガキ〒320-0863　宇都宮市操町 5－19・ FAX028-637-7630 までお願いします。

宇女高操会東京支部　ujkmisaotokyo@gmail.com
宇女高操会東京支部会ブログ　misaotokyo.exblog.jp/